

第1学年 総合的な学習の時間指導案

指導者 吉住 彩

1 単元（題材）名

住み続けられるまち金沢

2 目標

- ・金沢ふるさと学習を通して、学んだ金沢の魅力を将来に残していくために必要な情報を集め、分析することができる。（知識及び技能）
- ・金沢の魅力を将来に残していくために必要なことをまとめて、発表することができる。（思考力，判断力，表現力等）
- ・金沢の魅力を将来に残していくために必要なことを自分のこととして捉え、発表することができる。（学びに向かう力，人間性等）

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①これからの学習の目標と流れを理解できる。 ②金沢で実施、活用している事例を集めることができる。 ③金沢で実施、活用できそうな事例を集めることができる。	①集めた情報を参考にし、金沢でもできる内容を考え、スライドにまとめることができる。 ②相手に伝えることを意識して、スライドをまとめることができる。 ③まとめた内容を相手にわかりやすく伝えることができる。	①金沢の魅力を将来に残すために必要なことを考えようとしている。 ②金沢の魅力を将来に残すために必要なことを自分のこととして捉え、今後の生活に生かそうとしている。

4 指導にあたって

（1）教材観

学校の教育目標である「SDG s みらいを拓く心豊かな生徒の育成」を達成するために情報活用能力の資質・能力を育成するだけでなく、郷土かなざわを愛する心や誇りをもつ生徒の育成をもできる単元であると考え。本や書籍だけでなく、インターネットを使用し、多くの情報の中から自分の必要とする情報を探し出し、それらの情報をどのように活用するのかを生徒に考えさせることができる教材である。また、一人一人が答えのない課題に対し、自ら考えたことをまとめ、他者に伝えることで、課題解決能力を身につけることもできる。自分たちが住んでいる場所をこれからも住み続けるためにはどうしたら良いかについて自分事として捉える機会となると考える。

（2）生徒観

生徒は小学校と中学校一年生の一学期に金沢自主プランを経験し、郷土金沢の有名なものや伝統文化について学習してきた。金沢が観光地としてどのような場所かについての知識はあるが、自分たちが住むまちとしてどう発展してきたのかを考えたことはほとんどない。金沢の魅力についても漠然としたイメージしか持っていない。

本や ICT を使う活動にとっても意欲的な生徒が多く、情報検索能力は高い。一方で、多くの情報の中から適切な情報を探し出すことが苦手な生徒も中にはいる。この単元を通して、情報活用能力を養う

機会としたい。また、グループでは発表できるが、みんなの前で発表をするととなると、なかなか勇気が出ない生徒が多い。段階を踏んで、自分の意見を発表できる生徒を育てたい。

(3) 指導観

「見通しを持つための工夫」として、単元の初めに単元ゴールを生徒と共有することで、どんなことを学習していくのかについて見通しを持たせたい。また、一人一人が課題を持つことで、郷土金沢を観光地ではなく、自分たちが住むまちとして改めて考える機会としたい。魅力を将来に残すために行われていることを知り、自分たちにできることは何かについて考えさせたい。自分で課題を設定し、多くの情報から適切なことをまとめることで、情報活用能力を高めさせたい。

「変容を自覚させる工夫」としては、グループ発表を通して、自分の考えを伝える力を養うとともに、アドバイスをし合うことで、自分一人では気づけなかった視点にも注目させ、さらにより良い発表となるように指導していきたい。

5 単元の指導計画及び評価計画（総時数6時間）

次	時	学習課題とまとめ	評価		
			知	思	主
1	1	「金沢の魅力を将来に残していくためには？」 *学習の目標と流れを理解する。 *金沢の魅力を残す方法を考えようとしている。	①		①
2	1	「金沢では発展のためにどんな工夫をしているのかな？」 *インターネットや本から、金沢で行われている実践例を調べる。	②		
	2	「他地域の実践事例を調べて、金沢で参考にできそうなことは何か？」 *インターネットを利用し、他地域の実践事例を調べ、金沢と比較する。	③		
3	1	「調べたことをまとめよう。」 *スライドで調べた内容から自分の考えをまとめる。		①	
	2	「発表を意識して、スライドをつくらう。」 *自分の考えが相手に伝わるように見やすい工夫をしてまとめる。		②	
4	1	「金沢の魅力を将来に残すために必要なことはどんなことか？」 *金沢の魅力を残す方法を提案する。 *発表を聞いて、自分の考えを深める。		③	②

6 本時の学習（2次1時）

(1) ねらい

金沢で実施、活用している事例を集めることができる。

(2) 学習過程

<p style="text-align: center;">1～5 学習活動</p> <p>○主な発問 ◎深める発問 ・主な意識の流れ</p>	<p style="text-align: center;">時</p>	<p style="text-align: center;">●指導 ◇評価（観点）＜評価方法＞ *支援 【ICT】ICTの活用 研究の重点①重点②</p>
<p>1 学習の課題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習課題: 金沢では発展のためにどんな工夫をしているのかな？</p> </div>	5	
<p>2 自分で考える</p> <p>○金沢で発展や伝統を残していくためにどんな工夫をしているのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客するために雑誌やチラシで情報を発信しているな。 ・さまざまなイベントを企画しているな。 <p>○友達の調べた内容を見てみよう。</p> <p>○詳しく知りたい部分は友達に聞いてみよう。</p>	25	<p>● ICT で情報収集の仕方を伝える。 *調べた情報を共有するためにドキュメントを共有する。【ICT】</p> <p>重点① 見通しを持たせる工夫</p> <p>● 調べた内容を、メモでドキュメントにまとめることを伝える。</p> <p>*なかなか調べられない生徒には、おすすめのサイトや、ドキュメントから他の人が調べた本や内容見て参考にするよう伝えたりする。 (C→B)</p>
<p>3 みんなで考えを深める</p> <p>○ペアで調べたことを発表し合おう</p> <p>私は金箔さくだの魅力について調べました。私は金箔貼りなどの体験を通して金箔の魅力を広めていると思っていたけれど、実際に調べてみると、公式のウェブサイトやオンライン通販や、ブログをしていることが分かり金箔が身近に感じることができると思いました。</p>	15	<p>*友達の意見で参考になった意見をドキュメントでまとめるよう伝える。</p>
<p>4 「わかった」「できた」をまとめる ふり返りをする</p>	5	<p>重点② 変容を自覚させる工夫</p> <p>●新たにわかったこと、調べたことをもとにみんなの調べたことも参考にし、ドキュメントで要点をまとめているかを確認する。 ◇金沢で実践、活用している事例を集めることができる。(知識・技能)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>金沢ではフリーペーパーの活用やイベント企画を行い、魅力を伝えたり、伝統を残していくためのさまざまな工夫をしたりしていることが分かった。</p> </div>		<p><ドキュメント></p>

(3) 参観の視点に関する工夫点

重点① ドキュメントを活用し、見通しを持って考えをまとめることができていたか。

重点② 新たにわかったことなどを参考に自分の考えを深めることができていたか。

SDGsに関わる内容 「住み続けられるまちづくり」として、自分たちのまちをどうしたら良くなっていくのか、自分事として考えることができていたか。

(4) 板書計画

課題 金沢では発展のためにどんな工夫をしているのかな？

調べ方、データの残し方

- ・インターネット
- ・ドキュメントに記入 (他の人を参考にしても可)

授業の流れ

- ①インターネットで調べる
- ②ドキュメントに調べたことを残す
- ③調べたことを共有する
- ④参考になったことをまとめる

まとめ 金沢ではSNSを活用やイベント企画を行い、魅力を伝えたり、伝統を残していくためのさまざまな工夫をしたりしていることが分かった。